

第3回 大崎市立古川西小中学校応援団 第3回定例会議

令和7年1月21日(火)

1 開会

2 校長挨拶

9年生・・・進路選択について動いている。

推薦入試で6名進路決定

今週末私立入試

本日は、応援団について忌憚のない意見をお願いいたします。

3 参加者自己紹介

4 報告・協議

(1) 令和6年度の活動報告(別紙参照):副校長、後期課程教頭

①地区サポーター

・4つの地区からサポーターを募集している。

②学年サポーター

・フォームでアンケートをとって募集⇒いない学年もある

③学校支援ボランティア

・授業、行事、放課後活動、登下校の見守り、校地環境整備等で様々なお手伝いをいただいている。

(2) 令和7年度活動について

○ サポーターから

・資源物回収について

3回実施

開催頻度、開催時期を検討

・ベルマークについて

来年度以降も継続して回収する

・語り場について

6月、11月に開催

来年度以降の開催を検討

・おはようバードについて

参加率は50%以上

冬場は参加率が下がる⇒検討

- ・事務局会議について
最近の参加率が低い⇒時間の見直しが必要
- ・サポーターの在り方について
人数の編成に関して協議を行っている

※ 決まった内容は、学習参観等の際に保護者に伝えていく。

校長より提案

- ・同窓会を今後入れていきたい
 - ・卒業すると同窓会に入る⇒同窓会は応援団の一部
※ 卒業生が応援団となり学校を支えてほしい。
 - ・会費はなし
- 同窓会を作るのはよいことである。
 - 高校生になって地域と関わりが薄くなるので、とてもよい取り組みである。
 - よい取り組みである。西中の同窓会の人が続いて入っていくのか、それとも、西小中のみの同窓会なのか整理していくことが必要。
 - 小学校を卒業し、別の中学校へ行った人はどうなるのかも検討が必要。
ここから出て行った人は応援団の一人であるという風になるとよい。
 - 高校ボランティア活動が単位に入っている。応援団の一員として定期的な活動があるとよい。
 - 年配者に声は掛けやすいが、高校生や大学生はどうやって連絡をとってサポートしてもらうのか。防犯の観点から、中に入っている活動か、外でも活動か。
→ 周知は、公民館の配布物等でやっていくとよい。見た方がアナウンスをしてほしい。
→ 学校のホームページに載せてもらおうと若い人も見るのではないかな。

5 施設・学習見学

6 情報交換

- 定例会の会議の雰囲気や、学校の学習環境等を知ることができてよかった。
保存会の方が、応援団に興味があるようである。学校とのつながりがなくなってきたと感じているようである。
- 北部教育事務所の研修会で、事例発表を行った。(SL 学習等)
- 年4回運営委員会を行っている。公民館の運営について報告する会議。9年生の3名が出席。
積極的に質問をしたり、意見を述べたりした。⇒地域のことに関心を持つ契機になっている。
- 今後も地域の催しに西小中の子供たちも参加できるよう声掛けを行っていく。
- 第3回ワークショップを実施予定。
- 学年行事等で地域人材の更なる活用を。

(例) 志田地区でしめ縄作りの指導可能な方も

- 応援団の活動の振りかえりはサポーターの方中心に行ってきたが、他の一般の方々がどのように思っているのかを知りたいので、アンケートをとりたいと考えている。意見を聞き、取り入れられることを取り入れて新年度計画に生かしていく。

7 今後の予定について:前期課程教頭

- (1) 「おはようバード」通年実施
- (2) モーニングミーティング3月6日(木)
事務局会議2月6日
- (3) 卒業式 3月8日(土)
- (4) 学年末・学年始業式 3月25日(火)～4月7日(月)
3月24日修了式

8 その他

- 保護者アンケートで、おはようバードについて「必ずいかないといけないのか」という質問があった。可能な範囲で参加していただければよいので、共通理解をしていきたい。
個人の担当の日を決めなくても、おはようバードは実施できるか。
- 親同士や先生と話ができる場でもある。そういう雰囲気の方が参加しやすい。
- 子供の見守りが大事なので、おはようバードの後に先生と話をするべきではないか。
- 昨年度から通年で冬場も行った。冬場の実施はどうか意見も聞いていきたい。

9 閉会